



先生方、アンケートへのご協力本当にありがとうございます！！

音楽会と通知票の文言についてのアンケートですが、更に先生方から続々とたくさんのお知恵をお寄せいただきました。本当にありがとうございます！前回に引き続きご紹介させていただきます。



① 今年度ならではの音楽会の工夫 (音楽会をこんな風に工夫した・こんな演出ができた・この曲が良かったなど)

- ・4、5、6年は、鍵ハモを使わず電子オルガンを10台ほど使用した。3年は、リコーダーをやったが、グループアンサンブルの発表にした。2年は、ボディパーカッションで10曲ほど歌のメドレーを演奏した。
(飯島小)
- ・小規模校だからできたことだが、どうしても歌を取り入れたくて、いろいろな研究データをもとに、前後左右1.5mずつ間をあけ、一人一人立ち位置のポイントをきちんとつけてソーシャルディスタンスをとって、高学年合唱、全校の歌を1曲ずつ組み入れた。今年度大ヒットの「鬼滅の刃」より「竈門炭治郎のうた」は、リコーダー中心の合奏ですてきだった。5年生の合奏「八木節」も楽しい演奏になった。
(箕輪南小)
- ・音楽会を3回に分け、1・2年の部、3・4年の部、5・6年の部と3日間午前中で行った。映像を撮りやすいステージにしたこともあり、各クラス演出にも工夫を凝らし、歌やリコーダーができない秋～冬に全学年でDVDで鑑賞できたので有意義だった。ただ、中部音楽会がなくなり、毎年学年合唱をやるはずの5学年が、合唱を避けてリコーダー奏にしたため、正直今後への痛手が大きい。
(箕輪中部小)
- ・3年、リコーダー奏「あの雲のように」はゆったりと「スウィング」は軽やかに演奏できた。1・2・5・6年は、合奏、4年は音楽劇「オズの魔法使い」をソーシャルディスタンスをとった隊形で行った。
- ・職員「Beginner Five」(アルトリコーダー教材)を、木琴・鉄琴・低音はチェロ、ギターなども入れて合奏した。
(中川東小)
- ・全校を二つに分け、二部制で実施した。6学年のみ両方に参加し、全クラスの演奏を聴くことと、学年合唱を二度演奏した。演奏後は一度退場し、手洗いうがいをして体育館へ再入場した。音楽会当日の保護者の参観は無しとし、前日のリハーサルを自分の子どもの学年のみ参観してもらった。弓削田健介さんの曲は、合唱にしやすく、歌詞・旋律・伴奏が素敵で子どもの歌いたい気持ちを引き出す曲が多い。しあわせになあれ、いのちのまつりがとても良かった。
(伊那小)
- ・密を避けるため、2学年ごとの3部制にした。合唱は、前後1.8m距離をとり、感染症対策を行った。
(箕輪北小)
- ・換気をこまめに行う。各学年が終わるたびに、換気と保護者の入れ替え。音楽会の全校合唱を昨年と同じ歌にした。練習時間もあまりとることなく、必要な表現だけ付け足して集会等で行い(コロナで満足にはできなかったが)、その中で質の高いものに仕上がったと思う。「君の空、君の海」混声三部合唱(1年生におすすめ！曲調が一風変わっていますがサビのメロディがすごく良い)。(飯島中)



② R2 通知票の文言について（小学校は5・6年、中学校は現在のもの）

・箕輪町は、校務支援システムで通知票を作成することになり、項目数も他教科とだいたい同じにしなくてはならず、とても悩んだ。本当はもう少し項目を分けたかったが、音楽ばかり項目を増やすわけにもいかず4つに絞り込んだ。

1 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱・器楽の技能を身につけている。

2 設定した条件に基づいて、音楽づくりをする技能を身につけている。

3 音楽活動の中で、自分の考えや思いを表現したり、曲や演奏の良さを見いだしながら音楽を味わって聴いたりしている。

4 音楽に親しみ、進んで表現したり、鑑賞したりしようとしている。（箕輪南小）

・評価の観点別の文言については、例として挙げられている一般のものをそのまま使用している。以下、6年の例。

○音楽を表現するために必要な知識や技能を身に付け、歌ったり演奏したり、音楽を作ったりすることができる。

○曲や演奏のもつ、よさや面白さ、美しさなどを感じ取って、自らの演奏に生かしたり味わって聴いたりすることができる。

○音楽活動を楽しみながら、主体的に学習に取り組んでいる。

本校では、これに加え、具体的なものを学期ごと付け加えている。（別紙3枚）（箕輪中部小）

・3観点をふまえて5つの項目で評価

① 学びにむかう力

② 知識・技能(歌唱・器楽)

③ 思考力・判断力・表現力(歌唱・器楽)

④ 知識・技能、思考力・判断力・表現力(音楽づくり)

⑤ // (鑑賞)

5・6年音楽

① 音楽活動を楽しみながら意欲的に学習に取り組んでいる。

② みんなと合わせて自然で無理のない響きのある歌い方で歌ったり、音色や響きに気をつけて楽器を演奏したりする。

③ 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するか思いや意図をもっている。

④ 発想を生かして音を選択したり組み合わせたりして音楽をつくる。

⑤ 曲想の変化や音楽を形づくっている要素を聴き取り、曲や演奏のよさを味わって聴いている。

（中川東小）

・音楽への関心・意欲・態度

・音楽表現の創意工夫

・音楽表現の技能

・鑑賞の能力（飯島中）



年度末の忙しい時期となりますが、どうか先生方

お体を大事にお過ごしください

